

～「世界の優れているブドウ畑」50 を選出するアワード～  
**「ワールド ベスト ヴィンヤード 2020」で**  
**「シャトー・メルシャン」の「梔子ヴィンヤード」が**  
**日本初となるトップ 50 に選出**

メルシャン株式会社（社長 長林道生）の自社管理畑「梔子ヴィンヤード」（長野県上田市）が、2020年7月13日（月）（現地時間）に米国にてオンラインで発表された「ワールド ベスト ヴィンヤード 2020」にて、日本初となるトップ 50 に選出されました。

今後も「シャトー・メルシャン」は、日本を代表するワイナリーとして、高品質な日本ワインを造り、国内外へ情報発信をしていくことで、ブランドの認知拡大を図るとともに、日本ワイン産業の発展に貢献していきます。

●「ワールド ベスト ヴィンヤード 2020 (WORLD'S BEST VINEYARDS 2020)」について  
 「ワールド ベスト ヴィンヤード」は、英国の「ウィリアム・リード・ビジネス・メディア (William Reed Business Media)」が2019年から主催する、「世界で最も優れているブドウ畑 トップ 50」を選出するアワードです。「ワールド ベスト ヴィンヤード」のアカデミーに所属する世界各国 500 名以上のソムリエやワイン専門家などが、ツアー内容、雰囲気、料理、スタッフ、景色、評判、アクセスの良さなど多岐にわたる基準から、それぞれ 7 つのブドウ畑を推薦します。こうしてノミネートされたブドウ畑の中から、上位 50 件が選ばれます。

●「梔子ヴィンヤード」について  
 2003年に長野県上田市に開園した約 29ha の自社管理畑で、「メルロー」、「シャルドネ」、「シラー」や「ソーヴィニヨン・ブラン」など、8 種類のブドウを垣根式で栽培しています。2019年にはヴィンヤードの小高い丘の上に、ブドウ栽培からワイン醸造まですべてを見学できる「シャトー・メルシャン 梔子ワイナリー」を開設しました。「梔子ヴィンヤード」産のワインは、日本の公式行事で採用されるなど、国内外で高い評価を得ています。



メルシャン株式会社は、ワイン事業スローガン「ワインのおいしい未来をつくる。」のもと、ワインのある豊かな時間を通じて、人と人とのつながりを楽しんでいただけるよう、さまざまな提案を続けていきます。

記

- |              |  |
|--------------|--|
| 1. コンクール名    | 「ワールド ベスト ヴィンヤード 2020」(William Reed Business Media 主催) |
| 2. 開催地       | 米国 (オンラインにて開催)   |
| 3. 審査期間      | 2020年1月10日(金)～2020年2月10日(月)                            |
| 4. 発表日       | 2020年7月13日(月) (現地時間)                                   |
| 5. 受賞した当社の畑名 | 「梔子ヴィンヤード」   |

以上